

3. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の整 備	林業機械作 業システム整 備	安芸北森林組 合	林業機械導入 高性能林業機械等	平成30年度	素材生産量 (m3) 6,882 → 11,000	10,000 10,289 103%	11,000 7,782 71%			11,000	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				ハーベスタ		素材生産性 (m3/人・日) 4.20 → 6.00	4.20 5.49 131%	6.00 5.50 92%			6.00	
						稼働時間 (時間)	878	657				
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の整 備	林業機械作 業システム整 備	安芸北森林組 合	林業機械導入 高性能林業機械等	平成30年度	素材生産量 (m3) 6,882 → 11,000	10,000 10,289 103%	11,000 7,782 71%			11,000	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				フォワーダ		素材生産性 (m3/人・日) 4.20 → 6.00	4.20 5.49 131%	6.00 5.50 92%			6.00	
						稼働時間 (時間)	437	481				

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	三次地方森林組合	林業機械導入 高性能林業機械等	平成30年度	素材生産量 (m3) 14,488 → 18,500	16,000 15,116 94%	16,500 16,248 98%			18,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				ハーベスタ		素材生産性 (m3/人・日) 10.8 → 12.00	11.00 10.30 94%	11.00 11.80 107%			12.00	
						稼働時間 (時間)	742.5	785.4				
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	神石郡森林組合	林業機械導入 高性能林業機械等	平成30年度	素材生産量 (m3) 8,709 → 12,500	12,000 11,525 96%	12,500 12,520 100%			12,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				フォワーダ		素材生産性 (m3/人・日) 6.41 → 7.00	6.43 6.44 100%	6.90 6.55 95%			7.00	
						稼働時間 (時間)	818	914				

(注)

- 1 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
- 2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績／各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。
年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記載すること。

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	

3 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。

4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

5 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。

(1)要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。

(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。

6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。

7 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。

8 別表1のⅠの2の「10 林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。

9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

単位:千円

(広島県)

メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	項目	目 標 値	報告年度					備 考	
							運 用 開始年度	1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)		目標年度 (令和5年度)
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	安芸北森林組合	高性能林業機械等 ハーベスタ 等	平成30年度	収 入	66,089	1,742	61,818	46,755				
					支 出	48,966	1,291	45,801	37,790				
					収 支 差	17,123	451	16,017	8,965				
					収入のうち 公的資金等		739	26,231	19,839				
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	安芸北森林組合	高性能林業機械等 フォワーダ	平成30年度	収 入	66,089	1,742	61,818	46,755				
					支 出	48,966	1,291	45,801	37,790				
					収 支 差	17,123	451	16,017	8,965				
					収入のうち 公的資金等		739	26,231	19,839				
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	三次地方森林組合	高性能林業機械等 ハーベスタ	平成30年度	収 入	240,000	121,087	139,482	139,480				
					支 出	220,500	98,336	110,886	113,729				
					収 支 差	19,500	22,751	28,596	25,751				
					収入のうち 公的資金等	100,000	45,744	55,072	49,264				
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	神石郡森林組合	高性能林業機械等 フォワーダ	平成30年度	収 入	115,430	33,629	35,941	36,491				
					支 出	105,505	40,955	16,431	15,277				
					収 支 差	9,925	-7,326	19,510	21,214				
					収入のうち 公的資金等		4,666						

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

(1) 木材製材施設

(2) 集成材加工施設

(3) プレカット加工施設

(4) 丸棒加工施設

(5) 杭加工施設

(6) 木材加工施設

(7) 木材材質高度化施設

(8) 特用林産物生産施設

(9) 特用林産物加工流通施設

(10) 廃床等活用施設

(11) 木材集出荷販売施設

(12) 森林バイオマス再利用促進施設

(13) 木質エネルギー等利用促進施設

(14) 木質バイオマス供給施設

(15) 合・単板加工施設

(16) 品質向上・物流拠点施設

(17) チップ加工施設

(18) 新しい木材活用のための加工供給施設

(19) 直交集成板加工施設

(20) コンテナ苗生産基盤施設等

(21) コンテナ苗幼苗生産高度

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

(2) 収支実績

単位:千円 (広島県)

メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	項目	目 標 値	報告年度						備 考
							運 用 開始年度	1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	

- 2 「施設等区分」については、上記1のAに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

3 . 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)	4年目 (令和5年度)	目標年度 (令和6年度)	
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の整 備	林業機械作 業システム整 備	(有)光永運送	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等	令和元年度	素材生産量 (m3) 3,405 → 5,500	3,900 6,318 162%				5,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				ハーベスタ		素材生産性 (m³/人・日) 4.0 → 6.0	4.0 4.1 102%				6.0	
						稼働時間 (時間)	761					
						稼働日数 (日)	162 0					

(注)

- 1 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
- 2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績／各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。
年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記載すること。
- 3 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。
- 4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。
- 5 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。
(1)要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。
(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。
- 6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。
- 7 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。
- 8 別表1のⅠの2の「10 林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

単位:千円 (広島県)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度						備考
							運用開始年度	1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)	4年目 (令和5年度)	目標年度 (令和6年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	(有)光永運送	高性能林業機械等 ハーベスタ	令和元年度	収入	100,000	58,406	86,668					
					支出	90,000	54,214	84,212					
					収支差	10,000	4,192	2,456					
					収入のうち 公的資金等			13,968					

(注)

- 1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。
- ア 収支を伴う施設

(1)木材製材施設

(2)集成材加工施設

(3)プレカット加工施設

(4)丸棒加工施設

(5)杭加工施設

(6)木材加工施設

(7)木材材質高度化施設

(8)特用林産物生産施設

(9)特用林産物加工流通施設

(10)廃床等活用施設

(11)木材集出荷販売施設

(12)森林バイオマス再利用促進施設

(13)木質エネルギー等利用促進施設

(14)木質バイオマス供給施設

(15)合・単板加工施設

(16)品質向上・物流拠点施設

(17)チップ加工施設

(18)新しい木材活用のための加工供給施設

(19)直交集成板加工施設

(20)コンテナ苗生産基盤施設等

(21)コンテナ幼苗苗生産高度

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

- イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)
- 2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。